

第5学年1組 国語科学習指導案

平成29年 9月21日(木) 2校時

指導者 教諭 井上 竜一

場 所 5年教室

1 本研究授業の提案

自分たちの考えを説明したり、他の考えを聞いて伝えたりする活動を通して、山ねこの親分の心情を想像し、考えを深めることができるようにする。

2 本研究の授業技術課題

ジグソー学習の手法を効果的に授業に取り入れる。

3 単元名 注文の多い料理店

4 単元の目標

物語の構成や表現の工夫を見つけて、作品の良さを解説することができる。

5 指導計画(本時 6/10時間)

時	主な学習活動	単元の評価規準
①	○学習の見通しを立てる。 ・物語が書かれている工夫を読み取り、その解説文を書くことを知る。	【関心・意欲・態度】 物語に関心を持ち、進んで内容を調べたり自分で書いたりしようとしている。
②	○全体の構成をつかみ、物語の面白さについて考える。 ・構成 ・色 ・音 ・独特の表現等	【読むウ】 作者が考えた物語の工夫について読み取っている。
③④⑤	○場面ごとの扉の言葉や紳士の言動をまとめ、紳士の人物像について考える。	【読むウ】 文や言葉を根拠として、登場人物の心情の変化について読み取っている。
⑥	○場面ごとの扉の言葉から山ねこの親分の心情について想像して考える。(本時)	【読むオ】 既習内容を基にして、直接登場していない人物の心情を想像して考え、意見を交流し、深めている。
⑦	○最後の場面を読み取り、顔が戻らなかった紳士の気持ちについて考える。	【読むウ】 文や言葉を根拠として、登場人物の心情の変化について読み取っている。
⑧⑨	○表現の工夫についてまとめ、物語の面白さを解説する文章を書く。	【書くウ】 学習したことを基にして、物語の面白さを伝える解説文を書いている。
⑩	○解説文を読み合い、感想を交流する。	【読むオ】 解説文を読み合って交流し、深めている。

6 本時の展開

(1) ねらい

前時までに読み取った内容から山ねこの親分の心情について想像を広げ、考えることができる。

(2) 指導過程

学習活動	指導事項・留意点・評価
1 前時までの内容を振り返る。 ・紳士の人物像について考えた内容を確認する。 ・みえっぱりだが臆病。等 ・扉の言葉を書いたのは誰か、確認する。 ・山ねこの親分	・前時までの学習内容を全体でも振り返ることができるよう、ワークシートの内容を教室内に掲示しておく。 ・山ねこの親分は本分には登場しないことを押さえさせる。

<p>2 本時の学習課題を知る。</p> <p>とびらのことば書いたときの、山ねこの親分の気持ちについて想像を広げ、考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 親分自身は直接物語に出てこないが、扉の言葉やこれまで学習したことを基にしてその気持ちについて考えることを確認する。 						
<p>3 扉を三つのグループに分け、自分の割りあたった場面の山猫の気持ちを考え、グループで共有する。</p> <table border="1" data-bbox="178 376 895 745"> <thead> <tr> <th>1・2の扉</th> <th>3・4の扉</th> <th>5・6の扉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表には建て前を書いておくけど、裏には本音がでちゃったな。 言葉に二つの意味を持たせれば、きっとばれないぞ。</td> <td>食べるためにはどろやぼうしや外とうはじゃまだ。 とがったもや金属は口に刺さるから嫌いだ。</td> <td>おいしく食べるには味付けが大事だ。 早く食べたい、とってもお腹がすいた。すぐにでも食べたい。あせりすぎたかな。</td> </tr> </tbody> </table>	1・2の扉	3・4の扉	5・6の扉	表には建て前を書いておくけど、裏には本音がでちゃったな。 言葉に二つの意味を持たせれば、きっとばれないぞ。	食べるためにはどろやぼうしや外とうはじゃまだ。 とがったもや金属は口に刺さるから嫌いだ。	おいしく食べるには味付けが大事だ。 早く食べたい、とってもお腹がすいた。すぐにでも食べたい。あせりすぎたかな。	<ul style="list-style-type: none"> これまでに読み取った内容を生かして想像を広げさせる。言葉の二重の意味や扉の裏表の意味を想起させ、想像を膨らませるように声掛けする。 5, 6の扉では、「すっかり」「もうすぐ」「早く」などの言葉に着目させ、山猫の期待感に気付かせたい。 個人の考え→グループで共有→他のグループへの説明、というジグソー学習の流れを提示する。 グループに戻ったらメンバーが聞いてきた内容を基にしてまとめを書くことを事前に知らせ、一人一人が主体的に自分の考えを説明したり、他の説明を聞いたりすることができるように配慮する。
1・2の扉	3・4の扉	5・6の扉					
表には建て前を書いておくけど、裏には本音がでちゃったな。 言葉に二つの意味を持たせれば、きっとばれないぞ。	食べるためにはどろやぼうしや外とうはじゃまだ。 とがったもや金属は口に刺さるから嫌いだ。	おいしく食べるには味付けが大事だ。 早く食べたい、とってもお腹がすいた。すぐにでも食べたい。あせりすぎたかな。					
<p>4 グループでの考えを説明する人、他の二つのグループの説明を聞いてきてくる人に担当を分け、考えを共有する。</p> <table border="1" data-bbox="151 835 895 1016"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自分のグループの考えを他のグループの人に説明する</td> <td>他のグループの説明を聞いて来る。</td> <td>他のグループの説明を聞いて来る。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>時間を区切って交流した後、BとCの児童が他のグループの考えを説明する。</p>	A	B	C	自分のグループの考えを他のグループの人に説明する	他のグループの説明を聞いて来る。	他のグループの説明を聞いて来る。	<ul style="list-style-type: none"> それぞれが考えを聞いたり説明したりすることに責任感を持って活動することができるようにする。 共有した結果、自分たちの考えがどのように広がったかを各グループから発表させ、交流前後の変容を確かめる。
A	B	C					
自分のグループの考えを他のグループの人に説明する	他のグループの説明を聞いて来る。	他のグループの説明を聞いて来る。					
<p>5 共有した山ねこの親分の気持ちを基にして、山ねこの親分はどんなねこかを簡潔な言葉で考え、ノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 用意周とうで食いしん坊な親分。 言葉を使って人をだます、頭の切れる親分。 うまくだましたつもりだが、最後には気付かれてしまう、すこしまぬけな親分。等 	<ul style="list-style-type: none"> 全体で共有した内容を個人に戻すことで再考をうながし、最初の自分の考えとは違った山ねこの親分姿に気付くことができるようにさせたい。 <p><評価>親分の人物像について考え、適切なことばで表現することができたか。</p>						
<p>7 次時の予告をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 7枚目の扉と紳士、山ねこの気持ちについて読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 次時では最後の場面での紳士と山ねこの気持ちを考える活動を行うことを知らせる。 						

(3) 板書計画

<ul style="list-style-type: none"> 用意周とうで食いしん坊な山ねこ。 言葉を使って人をだます、頭の切れる山ねこ。 うまくだましたつもりだが、最後には気付かれてしまう、すこしまぬけな山ねこ。 	<p>山ねこの親分はどんなねこか</p>	<p>五・六のとびら</p>	<p>三・四のとびら</p>	<p>一・二のとびら</p>	<p>山ねこの気持ちについて想像を広げ、考えよう。</p>	<p>注 文 の 多 い 料 理 店</p>
--	----------------------	----------------	----------------	----------------	-------------------------------	--

(4) 本時の評価

<p>具体的評価基準</p>	<p>自分の考えを説明したり相手の考えを聞いたりして山ネコの気持ちについて考えを深めることができる。(観察・発言)</p>
<p>Aと判断する姿</p>	<p>どんな山ねこなのかを適切な言葉を使い、文に表現することができる。(ノート)</p>
<p>Cへの手だて</p>	<p>()な親分、という文型を示し、どんな山ねこか考えることができるように支援する。</p>

